

災害時のボランティア活動の心構え 10 箇条

- ①ボランティア本人の自発的な意思と責任により活動に参加することが基本です。
- ②自分自身で被災地の情報を収集し、現地に行くか、行かないか判断しましょう。
- ③安全や健康について、自分自身で管理しましょう。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。
- ④宿泊場所は、事前に被災地の状況を確認し、手配してください。水、食料、その他の回りのものについても事前に用意し、携行のうえ活動を開始してください。
- ⑤被災地に到着した後は、必ず災害ボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動の登録を行ってください。
- ⑥被災地における緊急連絡先や連絡網を必ず確認するとともに、地理や気候等の周辺環境を把握したうえで活動してください。
- ⑦被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいで参加してください。
- ⑧必ず災害ボランティアセンターや現地受け入れ機関の指示に従って活動してください。
- ⑨無理な活動は事故につながります。自分にできる範囲の活動を行ってください。
(休憩を心がけましょう)
- ⑩居住地(又は出発地)の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入しましょう。
(自己負担)